



学校教育理念：「**心**とした学校の共創」

教育目標：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成

令和3年6月3日 3号 文責 長松小学校 校長 佐々木講吉



「自問タイム」で長松っ子の更なる成長を！

6月の全校朝会は体育館ではなく、全校放送による朝会としました。

放送から流れてくる校長や各担当の話の聞いたり、大型電子黒板で映像を見たりする方法です。

最初に、第一中学校生徒会によるプルタブ集めの説明、校長による4・5月の学校生活の振り返りと6月の季節の話や学校生活の話、生活指導主任による6月の生活目標（廊下は静かに右側を）や声かけ事案等の話をしました。

全校朝会終了後は、「自問タイム」を実施しました。「自問タイム」とは、本校で実践している心の教育である五つの玉みがきを全校で振り返ったり、更に高めたりする学びの時間のことです。

自分自身を見つめ（メタ認知）、自己肯定感を高めるねらいがあります。

最初に、4・5年生の掃除の様子を映像で見ました。次に、「心の花プロジェクト」の説明。最後に5月の五つの玉みがきの振り返りをしたところでした。



話をした翌日には、進んで挨拶をする児童、ゴミ拾いをしてくてくれた児童がいて、あらためて子どもって素直だな～、と嬉しく思いました。



「心の花をさかせましょう」プロジェクト！

これも、自問教育の取り組みの一環です。児童が、五つの玉みがきを実践したことを見える化（具体物等を使って目に見えるようにし、意欲を高める）によって更に児童の向上心を高めさせるものです。

- 1 児童文学書「花さき山」を読み聞かせしました。善い行い（玉みがき）をすると花が咲くといった話です。図書室にもあります。
- 2 児童は、日頃実践した玉みがきを、準備した花びらに記入します。
- 3 職員室前のポストに入れます。
- 4 大きな壁面に貼り付けていきます。
- 5 長松小全校で大きな花畑ができます。



↑ 職員室前に掲示された「心の花プロジェクト」壁面



↑ 絵本 「花さき山」
発行：岩崎書店 作者：斎藤隆介